

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 112	提案機関名 よこすか葉山農業協同組合
<b>要望問題名</b> 規模拡大に伴う三浦半島における経営指標モデルの作成	
<b>要望問題の内容</b> 【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 三浦半島では、平成12年から平成22年までの10年間で、管内の0.5ha未満規模の農家数は約70%減少する一方で2ha以上規模の農家は、約1.5倍へと増加している。このような農地集約による規模拡大傾向は、今後、加速すると思われる。 こうした状況から、規模拡大し経営を改善していく農家の指標として、経営規模2ha以上の三浦型野菜経営モデルが必要となっている。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) かながわの農業経営を安定強化するための調査研究			
<b>対応の内容等</b> 現在の三浦型野菜経営の指標は、経営規模1.5ha(年間作付け面積3.5ha)を前提としています。 経営規模2ha以上となると家族経営の限界を超えることから、経済性指標作成にあたっては、雇用労力を前提とした新たな経営類型を設定し、品目毎の標準栽培体系を構築する必要があります。これについては、次回の作物別・作型別経済性指標一覧の改訂(2018年)に向け、検討します。 なお、標準栽培体系を構築するためには、事例収集が必要となりますので、情報の収集及び提供につきまして、御協力をお願いします。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			